

# ワクチン接種手順 ～予診担当医師～

2021年

6月2日

# はじめに

本資料は、予診を担当してくださる先生に事前に目を通していただくための資料になります。

大勢の住民の方々の予診を行いますため、可能な限りスムーズに行えるように準備をお願いいたします。

※ 本資料に記載している予診の流れについては、参考にしていただく程度のものでありますため、普段から行っている方法を取って頂いても構いませんが、経過観察する時間を含めてこれまでの予防接種と異なった手順があるので気をつけて下さい。

# (目次)

1. 事前の準備
2. 予診を行う
3. 接種可否判断を行う

(参考文献等)

「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する手引き 第3版」 (厚労省)

「予防接種 (筋肉注射) における個人防護具の使い方」 (一般社団法人職業感染制御研究会)

「新型コロナワクチン 予診票の確認のポイント ver 2.1」 (厚労省)

# 1. 事前準備

■ マスクを装着して行います。

※ フェイスシールドや手袋、エプロン等は、  
通常は不要です。

※ 白衣の着用は必須ではありません。

長時間の作業を行いやすい服装が良いです。



## 2. 予診を行う

### ■ 本人確認を行う

- ・ 予診票を受け取ったら、そこに記載されている氏名、生年月日を聞いて確認して下さい。

まずは本人確認のため、氏名と生年月日を教えて下さい。

## ■ 口頭で本日の体調を確認する

今日は熱もありませんね。  
体調はいかがですか？

## ■ 予診票を確認する

- ・ 事前の受付で確認はしていますが、「質問事項」を中心にチェックをしていって下さい。
- ・ 質問事項で網掛けになっていない部分にチェックがある場合、**予診資料**を参考にして接種適否判断を行って下さい。

## ■ 特に必要がある場合、身体診察を行う。

※ 診察前後で手指衛生を行う

※ 必要に応じてプライバシーに配慮出来る場所へ移動させる。

< memo > 予診に身体診察が必須かどうかという議論について

国が出した「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する手引き」の中で、予診に関する表現では、

「問診、検温及び**視診・聴診等の診察を接種前に行い**」（第1版）から、

「問診、検温及び**診察を接種前に行い**」（第2版）

と、表現が変更されました。詳しい説明はされていませんが、「聴診や触診を含めた身体診察」を必ずしも強いる方向性ではないとも読み取れます。

なお、予診の際に身体診察をルーチンで行う医師はほとんど見かけません。

### 3. 接種可否判断を行う

- ① 前段の質問事項で接種不適當なものがなく、
- ② 下段の接種希望書に**希望する**チェックと署名があり、
- ③ 予診担当医師が総合的に**接種可能と判断**するなら、

接種可能であることを本人へ伝えて、予診票の医師記入欄等を記載し、予診票を完成させてください。

予診の結果、本日ワクチン接種は可能です



## ■ 接種に際し**特別な配慮**が必要か検討する

- ・ 予診票の質問事項で引っかけたものの中には、ワクチン接種に際し、特別な配慮（待機時間の延長や、圧迫止血時間の延長など）が必要なものがあり、それに該当する方の場合、予診票に**朱書き**で記載して下さい。
- ・ この判断については、**予診資料**を参考にしてください。

## ■ 本人を接種ブースへ案内し、次の接種者を待ちます。

# ワクチンに関するQ&A

「新型コロナワクチンQ&A」 (厚労省HP)

ワクチンを接種する方から頻繁に聴かれることの解説が書かれてあります。ぜひ一度目を通してみてください。

<https://www.cov19-vaccine.mhlw.go.jp/qa/>



# ワクチンの基本を学べるサイト



運営：保健医療リテラシー推進社中

「こびナビ」は新型コロナウイルス感染症や新型コロナウイルスワクチンに関する正確な情報を皆さんにお届けするプロジェクトです。

<https://covnavi.jp/>

